



# 序論

# Iーはじめに

## 1. 人口ビジョンと総合戦略の位置づけ

**人** 口減少・少子高齢化や東京一極集中の進行により、地方創生への取組が求められる中、本町では「まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）」を踏まえ、平成27年（2015）年10月に、「第1期 福智町人口ビジョン」を策定し、この実現に向けた5年間の目指すべき目標と施策の方向を示した「第1期 福智町地方創生総合戦略」を策定した。

▶ この2つをまとめた基本計画を「第1期 福智町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と定め、将来にわたって活力ある地域を維持していくための様々な施策を推進してきた。この成果に基づき、更なる施策の推進を図るため、国や福岡県の動向、社会経済状況の変化、本町の課題等を踏まえ「第2期 福智町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。

## 2. 「第2期 福智町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の構成

### 1 人口ビジョン

本町における人口の現状と将来展望を示す計画。

### 2 地方創生総合戦略

人口ビジョンを踏まえ、地方創生の実現に向けた基本目標、その取り組みの方向、具体的な施策を示す計画。

## 3. 計画期間

令和2年度（2020）～令和6年度（2024）までの5年間とする。

## 4. 第1期 福智町地方創生総合戦略の成果

### 基本目標1 福智町にしごとをつくり、安心して働けるようにする。

#### 1 数値目標

- 【1】雇用創出数：100人（5か年計）→230人（平成27年度～4か年実績）
- 【2】創業事業所数：5事業所創業（5か年計）→9事業所創業（平成27年度～4か年実績）
- 【3】生産販売額：5億円創出（5か年計）→23億4千万円創出（平成27年度～4か年実績）

#### 2 基本的方向

- 【1】農業生産者等の人材育成および特産品等の販路拡大を行い、雇用の拡大に取り組む。
- 【2】農業の経営安定化を図り、耕作放棄地の解消に向けた取り組みを行う。
- 【3】福智町のブランド商品としての特産品の開発・販路開拓の取り組みに支援を行う。
- 【4】企業誘致の環境整備と地域産業の競争力を強化し、雇用の拡充に取り組む。

#### 3 主な成果

- 【1】地域ブランド化につなげるふるさと納税制度の拡大 ▶ 寄附額56億2700万円  
(平成27年度～4か年実績)
- 【2】福智ブランドの特産品開発・販路開拓支援 ▶ 新商品開発12品種増加  
▶ 取扱店舗80件増加  
(平成27年度～4か年実績)
- 【3】農業における新規就農者の促進 ▶ 認定農家・農業法人12経営体増加  
(平成27年度～4か年実績)
- 【4】地域産業の競争力強化支援 ▶ 創業支援件数8件 ▶ 企業誘致件数2社  
(平成27年度～4か年実績)

**基本目標 2 福智町への新しい人の流れをつくる。****1 数値目標**

- 【1】町外からの転入者：年間 800 人以上（5年後）[平成 26 年度 751 人]  
→ 795 人（平成 30 年度実績）
- 【2】町外への転出者：年間 800 人以下（5年後）[平成 26 年度 856 人]  
→ 817 人（平成 30 年度実績）
- 【3】観光拠点施設等の観光入込客数：51 万人（5年後）[平成 26 年度実績 47 万人]  
→ 59 万人（平成 30 年度実績）
- 【4】イベント等の実施に伴う交流人口：5 万人（5年後）[平成 26 年度実績 3 万人]  
→ 5 万人（平成 30 年度実績）

**2 基本的方向**

- 【1】雇用・定住促進および移住希望者のための相談窓口の設置等を行い、人口減少に歯止めをかける取り組みを推進する。
- 【2】町の活性化を目的に、観光産業の集客増をもたらす取り組みを実施する事業者に、支援を行う。
- 【3】福智町の地域資源を生かした観光イベント等を実施し、交流人口増加を推進し、地域ブランド化を図るとともに、定住人口の増加に結びつける。
- 【4】農家民宿やグリーンツーリズム等による都市住民との交流を推進し、移住促進を図る。

**3 主な成果**

- 【1】雇用・移住・定住促進とワンストップ窓口の設置 ▶ 就業件数 120 件  
(平成 28 年度～3 年実績)
- 【2】交流人口・観光人口の増加と地域ブランド化の推進 ▶ 観光PRイベント来場者 5 万人  
▶ 経済効果 3 千万円  
▶ PR 費用効果 1500 万円  
(平成 30 年度実績)
- 【3】福智ツーリズムの実施による都市住民との交流促進 ▶ 体験活動参加者 509 人  
(平成 30 年度実績)

### 基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

#### 1 数値目標

- 【1】若年層の就業率:80%(5年後)[平成22年 76.7%] → 82.7%(平成27年国勢調査実績)
- 【2】合計特殊出生率:1.8(5年後)[平成22年 1.62] → 1.6(平成27年)

#### 2 基本的方向

- 【1】若い世代が夢を持ち、希望どおり結婚し、子どもを生き育てられるような、経済的安定に結びつく環境整備を推進する。
- 【2】結婚から子育てまで、継続的な切れ目のないサポートを行い、移住・定住の促進を図る取り組みを推進し、支援制度を確立する。

#### 3 主な成果

- 【1】第3子以降保育料完全無料化の実施(年齢・世帯所得制限なし)の実施(平成29年度～)
- 【2】定住促進奨励事業(住宅取得補助金制度)の実施(平成29年度～)
- 【3】空き家解消支援奨励事業(空き家の解体・片付け費助成制度)の実施(平成29年度～)

## 基本目標 4

時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、  
地域と地域を連携する。

## 1 数値目標

- 【1】「小さな拠点」施設来場者数：30万人（開設後3か年計）  
→30万人（平成29年度～2か年実績）
- 【2】町内小学校生活習慣調査の  
家庭学習実施率：95%以上（5年後）[平成26年度 85.9%]  
→92.8%（平成30年度実績）
- 【3】全国学力・学習状況調査における  
町内中学校の家庭学習実施率：90%以上（5年後）[平成26年度 81.2%]  
→90.4%（平成30年度実績）

## 2 基本的方向

- 【1】多機能型の「小さな拠点」として図書館・歴史資料館を開設し、福智町の活性化に向けた一体的な取り組みを行う。
- 【2】福智町独自の特色ある教育環境の整備や支援を行うなど、学力向上に向けた取り組みを行う。
- 【3】時代のニーズに対応する医療・保健・介護・福祉の環境づくりを推進するとともに、高齢者・障がい者等の地域での支え合い体制づくりを推進する。
- 【4】交通弱者に対する地域の公共交通の充実と利用促進および買い物弱者等に対する環境整備を推進する。

## 3 主な成果

- 【1】「福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち」の開設（平成29年3月）  
▶ 初年度来館者数約16万8千人
- 【2】地域支えあい体制づくり事業実施地区 ▶ 30地区（平成30年度実績）